大豆栽培技術資料

令和7年8月 下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ① 短時間の畝間かん水は干ばつ対策になります!
- ②病害虫の適期防除をお願いします!



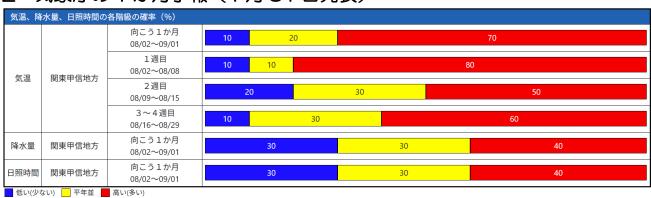
1 気象の経過

前年と比べて、 $6\sim7$ 月は高温で推移しました。7/10 に 1 時間に 30mm を超える大雨が降りましたが、7月中旬以降は極めて少雨で経過しています。

表.小山市アメダス

	6月下旬		7月上旬		7月中旬		7月下旬	
	(6/21-30)		(7/1-10)		(7/11-20)		(7/21-31)	
	本年値	前年差・	本年値	前年差・	本年値	前年差・	本年値	前年 差•比
平均 気温	27.1℃	+3.0℃	28.6℃	+0.2℃	26.2℃	+0.6℃	29.6℃	±0°C
降水量	34mm	59%	52mm	929%	57mm	130%	1 mm	2%
日照時間	67 時間	202%	49 時間	80%	42 時間	153%	118 時間	126%

2 気象庁の1か月予報(7月31日発表)



3 干ばつ対策

- 開花前〜莢伸長期にかけて最も水を必要とします。乾燥により、花数の減少や落莢と不稔莢の増加が発生します。
- 開花前~莢伸長期に 10 日以上晴天が続く場合、短時間で畝間かん水をしましょう。

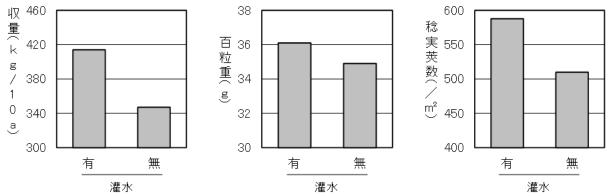
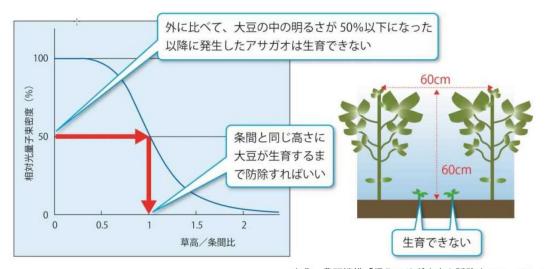


図1 灌水処理が収量、百粒重、稔実莢数に及ぼす影響 (農業技術体系作物編 6. 技 178 の 17 の 5 より作図)

注) 開花期以降、高温乾燥年だった3か年の平均値(タチナガハ)

4 雑草対策

- ・まずは土壌処理剤→中耕作業→<u>茎葉の被陰力</u>で、雑草抑制を目指しましょう。
 大豆の初期生育を促し、雑草との生存競争に負けない大豆にすることが重要です。
- ・後発の雑草を中耕作業で処理しきれないときに、<u>畦間雑草茎葉散布</u>を行いましょう。 難防除雑草には、パワーガイザー液剤が有効です! ※ただし、パワーガイザーは薬害が出やすいため注意しましょう。



出典:農研機構「帰化アサガオまん延防止マニュアル」

5 病害虫防除

• べと病: 開花 10 日前~子実肥大期に薬剤防除をしましょう。

なお、発生が拡大する場合は、開花 40 日後までに追加防除をしましょう。

• 紫斑病: 開花 15~35 日後に薬剤散布を行いましょう。

表主な病害虫防除農薬

(登録内容は令和7年7月28日現在)

べと病防除に使用できる主な薬剤(農薬名)	紫斑病防除に使用できる主な薬剤(農薬名)※生育期
ランマンフロアブル	アミスター20フロアブル
アミスター20フロアブル	サンリット水和剤
ベトファイター顆粒水和剤	Ζボルドー
フェスティバルC水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤
プロポーズ顆粒水和剤	プロポーズ顆粒水和剤
リドミルゴールドMZ	トップジンM水和剤

注)アミスター20フロアブルは、耐性菌が発生しやすいので隔年使用とし、同一年における使用回数は 1回とする。なお、ファンタジスタ顆粒水和剤との同時散布は行わないこと。

• カメムシ類、マメシンクイガ

開花期の 15 日後に 1 回目の散布を行い、その後 10~14 日おきに 3~5 回散布しましょう。特に多発地域では散布間隔を短く、回数を多くしましょう。

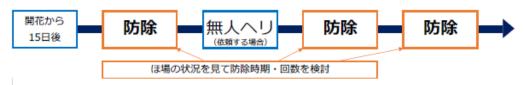


表 主な病害虫防除農薬 (登録内容は令和7年7月28日現在)

大豆カメムシ類に登録のある主な薬剤 (農薬名)

スタークル液剤10

キラップフロアブル

トレボンEW

エクシードフロアブル

~栃木県からのお知らせです~

6月~8月は、「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。



- 安全作業の第一歩! 農薬散布時の身支度は万全に!
- ・いつものチェック! 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう!
- ・農薬散布のその前に! 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう!
- ・周辺への配慮! 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう!
- ・農薬散布のその後に! 防除器具の洗浄も必ず行いましょう!

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101 HP http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html